



露払いを舞ったことのある

関 敏彦さん(代野)

番楽にかかわることができて
良かった

小学3年生ぐらいのときに露払いを舞ったんですが、ものすごいプレッシャーがあったのを覚えています。よく怒られて練習していましたけど、小さいながら完璧でなくてもしっかりやるうって。中学校に入った頃にやめて

しまったんですけど、少しでも番楽にかかわることができて良かったと思っています。今も新聞などで見掛ける、皆さん頑張ってるんだなって思います。自分が生まれ育ったこの地区に、こういう伝統が残っているのってすごいですよね。簡単に残っていくものでもないだろうし、もし、もう一度一緒にやるうって声を掛けられたら、かかわっていきたいですね。

私たちも応援し隊



代野町内会常会長

佐藤 新正さん(代野)

「代野番楽」を多くの皆さんに
知ってもらいたい

子供たちも小さい頃は番楽を喜んでやってるんですが、中学、高校に進学するとやめてしまうんですね。もう一度、子供たちと一緒に取り組むものを見つげようと思ってるんですが、町内には子供が少ないし、代野番楽を残し

ているためには、会員を集める地区を広げていくことも考えないといけないのかな。頑張って再開させた会員も高齢化してきてるし、健康なうちには後継者が育ってくれば良いなと思います。元旦の奉納のときは、町内中に呼び掛けをしているんですが、もっともっとPRする機会があれば色々な所で披露して、この番楽を多くの皆さんに知ってもらいたいと思っています。

代野番楽 奉納

とき 1月1日(木) 10時

ところ 代野稻荷神社

(国道7号「田代大橋」手前を山瀬ダム方面に向かい約700m)

元旦は代野番楽を見ましょう

取材を終えた数日後、郷土芸能保存協会40周年記念式典で代野番楽を披露した皆さん。勇ましい武士舞いと、ステージ上いっぱい動き回る獅子の舞いは、見る人を魅了しました。

その姿からは、300年近くも受け継がれてきた伝統芸能を守り、途絶えさせてはいけないという、皆さんの強い思い入れと責任感がひしひしと感じられました。

会員が8人しかいない今、皆さんが抱える一番の悩みは後継者不足でした。しかし、この代野番楽を保存・継承していくために頑張る会員の皆さんを、町内だけでなく地域のみinnで支えていかなければならないんだと感じました。私たちも文化継承に一役を担うことができるんですね。

私も元旦には足を運んで、保存会の皆さんの雄姿にエールを送りたいと思います。餅まきもあるそうですし、皆さんもぜひ「代野番楽」を見に来ませんか。

